

2015年8月6日

各位

本店所在地 東京都千代田区麹町2-4
会社名 そーせいグループ株式会社
(コード番号 4565 東証マザーズ)
代表者 代表執行役社長 CEO 田村 眞一
問い合わせ先 執行役副社長 CFO 虎見 英俊
電話番号 03-5210-3290(代表)

子会社 Heptares 社とアストラゼネカ社の複数のがん種を標的とするがん免疫療法開発での提携に関する共同発表のお知らせ

当社子会社 Heptares Therapeutics (ヘプタレス・セラピューティクス、以下、「Heptares 社」)は、本日、アストラゼネカ社(英国)とがん免疫療法開発に関する提携契約を締結しましたので、お知らせいたします。本提携のもとで、アストラゼネカ社はがん免疫療法の低分子化合物であるアデノシン A_{2A} 受容体拮抗薬 HTL-1071 およびその他のアデノシン A_{2A} 受容体阻害剤の独占的開発、製造販売権を取得します。同社は、複数のがん種を標的とし、同社の既存開発ポートフォリオのがん免疫療法の併用を含む、HTL-1071 およびその他の化合物の研究開発を実施します。

がん細胞は天然物質であるアデノシンを分泌することで、免疫システムからの攻撃を回避することが知られています。アデノシンは、免疫細胞の A_{2A} 受容体を刺激することによって T 細胞の増殖を阻害し、がん細胞に対する殺傷力を低下させます。従って A_{2A} 受容体を阻害することは、腫瘍内微小環境における T 細胞の抗がん能力を増強させます。

本契約に基づき、Heptares 社は、HTL-1071 の研究・開発、製造・販売に関する独占的権利をアストラゼネカ社に導出します。さらに、両社でがん免疫療法における新たなアデノシン A_{2A} 受容体拮抗薬の探索を目指し、共同研究プログラムを開始いたします。

今回の提携により、Heptares 社は 10 百万米ドルの契約一時金に加え、早期達成が見込まれる前臨床研究結果および臨床試験開始に応じて相当額のマイルストーンを受領いたします。さらに、予め定められた開発および販売の目標の達成に応じて、総額 500 百万米ドルを超える開発および販売マイルストーンや、販売高に応じた最大二桁比率の段階的ロイヤリティを受領することが可能となります。

当社のチーフ R&D オフィサーであり Heptares 社の CEO であるマルコム・ウィアーは次のように述べております。

「アデノシン A_{2A} 受容体開発プログラムとそのプログラムから生み出された有望な新規開発品 HTL-1071 は、当社の GPCR 構造ベース創薬アプローチの有用性を裏付けるものです。

当社はがん治療において重要な役割を持つ GPCR を標的とする技術を有しており、抗体および低分子治療薬の開発を目指しています。この度、がん治療薬の開発において先進的なリーダーであるアストラゼネカ社と提携できたことを大変嬉しく思っております。この契約は、同社とのこれまでの提携を前進させたものと考えております。」

アストラゼネカ社のオンコロジー部門の責任者であるスーザン・ガルブライト氏は次のように述べています。

「がん免疫療法という注目されている分野において Heptares 社と成果を上げてきた共同提携を広げることができ、大変喜ばしく思っています。Heptares 社の先駆的な A_{2A} 受容体プログラムとアストラゼネカ社の強力な抗がん剤のポートフォリオを合わせることによって、患者さんの生活を一変させる新規治療薬を開発できると期待しています。」

なお、本取引は、米国ハート・スコット・ロディノ反トラスト改正法[※]による関係当局の承認を条件としています。また、本件による契約一時金は既に当期連結業績予想に織り込み済みであるため、前回公表数値の変更はありません。

[※] 米国ハート・スコット・ロディノ反トラスト改正法は、企業買収や合併のほか、製薬分野の特許の独占的实施権のライセンスにおいて、取引額および当事者の規模が一定額以上となる場合に、関係当局への事前届出義務を定めており、待機期間が満了するまで取引の実行を禁止しています。

以 上

<ご参考>

アストラゼネカ社について

アストラゼネカは、イノベーション志向のグローバルなバイオ・医薬品企業であり、主に循環器、代謝、呼吸器、炎症、自己免疫、オンコロジー、感染症およびニューロサイエンスの領域において、医療用医薬品の創薬、開発、製造およびマーケティング・営業活動に従事しています。100 カ国以上で事業を展開しており、その革新的な医薬品は世界中で多くの患者さんに使用されています。詳細については <http://www.astrazeneca.com> をご覧ください。

そーせいグループについて

そーせいグループはグローバルに医薬品開発に取り組む日本発バイオ医薬品企業です。そーせいグループのビジネスモデルの根幹にあるのは、新規・差別化可能な開発品および基盤技術の探索、それらの非臨床・臨床開発の支援、開発・販売提携等を通じて世界中の患者さんに新たな医薬品を届けることです。

詳細については、 www.losei.com をご覧ください。

Heptares 社について

Heptares 社は、広範囲のヒト疾患に関連する 375 個の受容体のスーパーファミリーである Gタンパク質共役受容体 (GPCR) を標的とした創薬を行う医薬品開発企業です。同社独自の構造ベースドラッグデザイン技術を利用することにより、臨床的な有用性は証明されているものの、これまで創薬が困難であった GPCR を標的とした医薬品の創出が可能となります。このアプローチを使用して、同社はアルツハイマー病、統合失調症、ADHD、偏頭痛、依存症、代謝疾患等の治療法を革新する可能性を有する、画期的なパイプラインを構築しております。なお、Heptares 社は既にアストラゼネカ社、MedImmune 社、Cubist 社、MorphoSys 社、武田薬品工業株式会社等と提携しております。

詳細については、 www.heptares.com と www.losei.com をご覧ください。

HEPTARES は、EU、スイス、米国と日本における登録商標です。

StaR[®] は、EU と日本における登録商標です。